

6月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.110 令和5年(2023年)9月1日発行

目次

- ・議会構成の紹介 P2
- ・6月定例会等の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・市議会からのお知らせ P12

県立和歌山北高等学校3年
陸上部 坂本 実南 さん

JOCジュニアオリンピックU18、と
ちぎ国体に出場。北信越総体2021
女子100mで5位入賞、四国総体
2022女子200mで7位入賞を果た
す。8月開催の北海道総体に出場予
定(取材は6月末)。「今年は去年の
順位を越えたい。自分に勝ちたい」

新時代へ!

就任の挨拶



動画が
ご覧いただけ
ます

改選前に引き続き、和歌山市議会議長に就任いたしました。市民の皆様方には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、世の中にアフターコロナへの期待感が高まりつつある一方、デジタル社会への対応、SDGsの推進、脱炭素社会の実現など、これまでにはなかった課題に加え、防災対策、少子高齢化対策をはじめ喫緊の課題も山積しています。これらを解決するには、市民の皆様方と対話や意見交換等の機会を重ね、本市の将来像を共有し、新しい和歌山市を創っていくことが重要だと考えます。

このたび新たに就任いたしました丹羽副議長とともに鋭意努力し、時代に即する議会を目指し、市民の皆様方と一緒に和歌山市の未来を創ってまいります。ぜひ皆様方の声をお聞かせください。

議長・副議長の経歴



副議長
にわ なおこ
丹羽 直子

(令和5年5月26日就任)
平成23年初当選 現在4期目
厚生委員会委員長
総務委員会委員長
地震等災害対策特別委員会
委員長などを歴任



第89代議長
とだ まさと
戸田 正人

(令和5年5月26日就任)
平成14年初当選 現在6期目
議会運営委員会委員長
和歌山市議会副議長
和歌山市議会第88代議長
などを歴任

常任委員会の構成

総務
委員会

(定数10人)

市の計画、税金など

市長公室、総務局、危機
管理、財政局、選挙管
理委員会、人事委員会、
監査委員の所管に関す
ること、他の委員会の所
管に属しないことを審査



委員長
はまだ しんすけ
浜田 真輔
(創和クラブ)



副委員長
やまもと だい
山本 大地
(創和クラブ)



ほり とみこ
堀 登美子
(公明党議員団)



やまの まいこ
山野 麻衣子
(日本維新の会)



そのうち ひろき
園内 浩樹
(公明党議員団)



もりした さちこ
森下 佐知子
(日本共産党議員団)



よしもと まさずみ
吉本 昌純
(和歌山興志クラブ)



やまもと ただすけ
山本 忠相
(民主クラブ)



ふるかわ まさのり
古川 祐典
(創和クラブ)



きたの ひとし
北野 均
(創和クラブ)

厚生
委員会

(定数9人)

福祉、環境など

市民環境局、健康
局、福祉局の所管に
関することを審査



委員長
にしかぜ あきよ
西風 章世
(公明党議員団)



副委員長
はやしもと みつひろ
林元 光広
(創和クラブ)



しんこ ゆうこ
新古 祐子
(日本維新の会)



あかまつ よしひろ
赤松 良寛
(和歌山興志クラブ)



やまじ やすよ
山路 恭世
(民主クラブ)



さかくち たみこ
坂口 多美子
(日本共産党議員団)



やぶ ひろあき
藪 浩昭
(公明党議員団)



いのうえ なおき
井上 直樹
(創和クラブ)



しばもと かずき
芝本 和己
(創和クラブ)

経済文教委員会

(定数9人)

観光、教育など

産業交流局、農業委員会、教育委員会の所管に関することを審査



委員長
やまなか としお
山中 敏生
(民主クラブ)



副委員長
つじもと たいち
辻本 太一
(創和クラブ)



なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎
(日本維新の会)



ほり よしこ
堀 良子
(公明党議員団)



なかむら もとひこ
中村 元彦
(創和クラブ)



ながの ひろひさ
永野 裕久
(和歌山興志クラブ)



なかたに けんじ
中谷 謙二
(創和クラブ)



みなみばた さちよ
南畑 幸代
(日本共産党議員団)



まつもと てつろう
松本 哲郎
(公明党議員団)

建設企業委員会

(定数9人)

道路、水道など

都市建設局、消防局、企業局の所管に関することを審査



委員長
かわばた やすふみ
川端 康史
(民主クラブ)



副委員長
きの じゅうぞう
木野 十三
(公明党議員団)



しが ひろあき
志賀 弘明
(日本維新の会)



きよすえ ひろよし
清末 博善
(民主クラブ)



にわ なおこ
丹羽 直子
(創和クラブ)



おざき まさや
尾崎 方哉
(和歌山興志クラブ)



おくやま あきひろ
奥山 昭博
(公明党議員団)



やまもと こういち
山本 宏一
(創和クラブ)



えんどう ふじお
遠藤 富士雄
(創和クラブ)

地震等災害対策特別委員会 (定数10人)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| ◎ 古川 祐典 | ○ 木野 十三 | 志賀 弘明 |
| 赤松 良寛 | 清末 博善 | 山本 大地 |
| 西風 章世 | 芝本 和己 | 南畑 幸代 |
| 山本 忠相 | | |

議会運営委員会 (定数10人)

- | | | |
|---------|--------|-------|
| ◎ 中村 元彦 | ○ 薮 浩昭 | 山本 大地 |
| 山野 麻衣子 | 川端 康史 | 園内 浩樹 |
| 森下 佐知子 | 尾崎 方哉 | 山本 忠相 |
| 山本 宏一 | | |



広報委員会

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ◎ 中谷 謙二 | ○ 堀 良子 | 新古 祐子 |
| 山路 恭世 | 清末 博善 | 堀 登美子 |
| 辻本 太一 | 林元 光広 | 坂口 多美子 |
| 永野 裕久 | | |

◎委員長 ○副委員長

5月臨時会の概要

開会

5月26日

- ・正副議長の選挙
- ・議席の指定

- ・会期の決定(5月26日～5月31日)
- ・議会運営委員会委員の選任

閉会

5月31日

- ・仮議長の選任
- ・常任委員会委員の選任
- ・広報委員会委員の選任

- ・議案説明(報告関係4件、承認関係1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決

6月定例会の概要

開会

6月23日

- ・会期の決定(6月23日～7月13日)
- ・議員発議(地震等災害対策特別委員会の設置1件)、採決、委員の選任

- ・議案説明(報告関係13件、承認関係1件、議案20件(補正予算案3件、条例案6件、その他11件))

一般質問等

6月27日

- ・山路恭世議員、堀 登美子議員、永野裕久議員

6月28日

- ・木野十三議員、志賀弘明議員、坂口多美子議員

6月29日

- ・赤松良寛議員、辻本太一議員、森下佐知子議員

6月30日

- ・林元光広議員、南畑幸代議員、浜田真輔議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

7月3日～7日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

7月10日

- ・経済文教委員会で議案について審査
- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

7月11日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

7月13日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件25件)、採決

令和5年度予算(6月補正後)

一般会計	1,534億3,188万9千円 (補正額61億6,610万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,391億6,483万3千円 (補正額3,450万7千円)
合計	2,925億9,672万2千円

補正予算の概要

一般会計では、令和5年6月2日の豪雨による災害復旧事業、ポンプ場運転管理事業、物価高騰重点支援給付金事業、小学校給食費無償化事業、移住支援金交付事業(東京23区型)、脱炭素化推進事業、地域バス本格運行・実証運行事業、学校ICT環境設備整備事業、中学校給食センター整備運営事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、卸売市場事業に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

創和クラブ

つじもと たいち
辻本 太一

和歌山城における観光振興

問 市民自身が和歌山城の良さを知った上で、その良さを対外的にアピールしていくといった流れや仕組みを作ることが、和歌山城の知名度・来場者数増加にとって重要であると考えます。和歌山城には変化が必要であ

ピックアップ

PickUp!

一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

り、市民に対するアプローチも必要である。

市の観光振興を考えるに当たり、二丁目一番地が和歌山城であると考えます。独自性を磨き、唯一無二のブランド城を目指し、今一度お金をかけて磨くべきではないかと考えるがどうか。



和歌山城とうめ忍者犬「うめちゃん」

答 天守閣そのものだけでなく、内部の展示についても研究することをはじめ、より魅力的な天守閣となるよう検討する。また、天守閣の夜間活用を進め、西之丸庭園などの魅力的な夜間景観づくりについても検討を進めるとともに、扇の芝の整備や二の丸北辺櫓群の再建の検討も進め、文化財として城全体の価値や魅力も高めていく。

市民サービスの向上

問 人口減少社会の中で、どれだけ住みよいまちを作り、多くの方に移住定住してもらうかが重要になる。職員と話して気持ち良く帰ることのできる市役所を目指すのも一つの方法だと考える。

市では、現在、民間企業と人事交流を行っているが、その経験を市政に生かすことはできているか。また、デジタル化を進める中、業務の効率を高めることで市民サービスを向上できると思うがどうか。

答 派遣先で得た知識・経験は自身の業務に生かしてもらうとともに、市にとつての財産にもなると考える。

また、デジタル技術の活用で、事務や作業等の効率化が図られ、生み出された時間やスペースなどを活用することで新たな政策等の立案が可能となり、サービス向上につながると考える。

はやしもと ひろあき
林 元 光広

LGBT理解増進法

問 LGBT理解増進法が施行された。法制化の検討に当たっては、広く国民の意見を反映させるために十分な意見聴取の機会を設けることが重要であり、実生活の課題から解決策を見つけていくべきだと考える。

女性と子供の安全と権利を守るため、本市における運用について、性自認は女性で、身体的には男性の方が、女性用トイレの使用を希望された場合、どのような対応を検討しているのか。

答 トランスジェンダー女性から女性用トイレ使用の希望があった場合は、多目的トイレを案内し、利用いただくよう理解を求めている。

問 今回は、LGBTの理解を増進するという法律名ではあるが、本市において、LGBTに関する条例の制定を検討しているのか。

答 自治体に求める具体的な取組が示されておらず、条例制定の検討に至っていない。今後、国の基本計画や運用指針の内容を注視し、市民の分断を招かないよう、

適切に対応していく。

食育から地域を考える

問 子供たちが一次産業の尊さを学ぶ食育を通じて、農業や漁業に携わる方と交流すること、生産者や食材への感謝の気持ちを育むことが大切だと考える。今ある食品や伝統食を大切にしたい、食べ残しや食品ロスを減らすことも自然に考えられる和歌山市民を育成すること、豊かで恵まれた和歌山を次世代に継承することができないのではないかと考える。

一次産業を守り、農水産物の確保を図るため、今後どのような取組を行うのか。



答 一次産業の尊さを学ぶ食育についても、推進しているところである。今後は、持

続可能で環境に優しい農業の推進や安心・安全な農水産物の供給に、それぞれの持つ多面的機能を生かしながら取り組んでいく。



はまだ しんすけ
浜田 真輔

若竹学級(学童保育)

問 本市の小学生の児童数は、少子化に伴い、毎年減少傾向になっている。一方、夫婦の共働きなど社会構造が変化したことにより、学童保育の登録数は、全国ベースでは20年前と比べ3倍に増え、子供たちが育つ家庭環境に影響を与えている。

そこで、若竹学級の過ごし方について注意を払うべきであり、成長過程を大切にする大人の思いを形にするべきだと思うが、現状をどう考え、今後どうあるべきでどうすべきか。

答 若竹学級で過ごす児童は、1年生から6年生と発達段階も大きく違い、特別な支援や配慮を必要とする児童もいることから、安全

面での配慮はもちろん、それぞれの児童が主体的な遊びや生活が可能となるような保育内容の充実が必要であると考えている。

問 子育て日本一を目指す市長にとって、若竹学級の待機児童解消に対して、どう思い、どうすべきと考えているか。

答 要因を分析することで、学校ごとの最適な対応を導き出し、待機児童の解消に努め、子育て世帯の不安感や負担感の軽減を図る。



宅地開発に伴う公園の維持管理

問 宅地開発により公園が増加し続ける一方、宅地購入者の高齢化に伴い維持管理が難しくなっている。

美観という視点と地域コミュニティの在り方、維持管理の軽減や利活用を含め、今後の取り組み方を改めて考え直すべきだと思うが、市長の考えはどうか。

答 公園の維持管理の負担軽減につながる取組を行うとともに、地元の実情に合わせた公園の在り方について、住民ニーズの把握や地域コミュニティの活性化、防災活動に寄与する活用方法など、有効な手段の検討を進めていく。

公明党議員団



ほり とみこ
堀 登美子

就労移行支援

問 就労移行支援事業所に通うための交通費を支給しているのは、県内30市町村のうち22市町村である。8市町村は行っておらず、本市もそのうちの一つである。通いたくても交通費が出ないため、諦めた方もいる。

一人でも多くの方が自信を持って、生き生きと就労してもらうには、行きやすい環境を作ることが最重要課題であり、その後押しのきつかけになる交通費の支給は必要であると考えている。

本市も、就労移行支援事業所の利用者へ交通費を出すべきだと考えるがどうか。



答 交通費の支給は、就労移行支援事業所を利用するためのハードルを下げ、社会参加の機会を増やすことにつながると考えられるが、他の障害福祉サービスとのバランス等を考慮し検討していく。

災害時の避難所

問 避難所となる学校体育館では、真夏や真冬になる

と、熱中症や冷え込みなど体への負担が大きくなるため、空調設備が必要であると考えている。

現在、避難所体育館への空調設備の設置を進められているが、完全設置まで数年かかると思われる中、空調設備のない体育館への避難についてどう考えるか。

答 令和元年度から中学校の体育館に空調設備の設置を始めている。熱中症や寒さが心配な場合は、学校内で空調が有り、利用できる教室へ誘導するなど、柔軟な対応をとっていく。



きの じゅうぞう
木野 十三

にぎわいのあるまちづくり

問 週末に開催されるイベントでは、たくさんの人でにぎわっている。このにぎわいを日常にするため、平日の昼間は、和歌山ならではの新鮮な野菜や果物、特産物が並び、夜には、福岡県のように屋台が並び、地元の人と観光客が自然と交

流を深められる場所を一日も早く実現したいと思う。そうすることで、観光客からの和歌山の印象が良くなり、食・自然文化芸術でにぎわいの和歌山が新たに誕生すると考える。

市内外の人が、いつ来ても楽しめる場所を実現するために、中心となる人がチームを作り、コーディネーターすべきだと思うがどうか。



まちなかのにぎわい

答 市内外の人がいつ来ても楽しめる場所の実現に向けては、更なる研究が必要であるが、今後も引き続き、民間の方々との協働しながらにぎわいのあるまちづくりに努めていく。

絶景の宝庫 和歌の浦

問 日本遺産「絶景の宝庫

和歌の浦」が、聖武天皇行幸1300年記念を迎えるに当たり、箕供山に設置されていたエレベーターの看板設置、小中学生への冊子贈呈などを強く要望する。

日本遺産認定からの活用、取組、その成果はどうか。

答 今後も、「絶景の宝庫和歌の浦」に親しみ、楽しんでもらえるような環境整備や情報発信等を効果的に行い、国内外の多くの人に訪れてもらえるよう取り組んでいきたいと考えている。

民主クラブ



やまじ やすよ
山路 恭世

病児保育

問 現在、本市で小児科がある病院は約90件で、うち病児保育の受入れは2院と大変少ない。本市と同規模程度の人口で、病児保育の充実に取り組んでいる自治体を調べたところ、東京都港区があり、本市と港区を

国勢調査のデータで比較すると、0歳から4歳の人口は9830名と1万3387名、病児保育の受入れ施設数は2院と6院、受入れ定数の定員は12名と28名で、港区は本市の約1.7倍以上の受入れがある。

他都市の状況も踏まえ、子供の急な発熱、体調不良に対応できる病児保育の拡充を、母親の訴えとして検討してはどうか。



答 現在、2施設、定員計12人の体制で実施している。本市より人口の少ない中核市において、実施箇所数が多く、かつ年間の延べ利用者数の多い市があることは把握している。今後の事業拡充は、本市のニーズ等を踏まえ、検討していく。

メタバース空間

問 義務教育において、不登校児童生徒に対する支援として、メタバース空間で登校した場合、出席扱いとできるのか。また、教育現場におけるメタバース空間の活用について、どのように考えているか。

答 一定の要件を満たした上でICT等を活用した学習活動を行った場合は、学校長の判断で出席扱いにできるとされており、メタバース空間での学習活動も含まれると考える。今後、国や先進市の事例などの情報収集を行い、検討していく。

買物困難者

問 吹上・小松原地区周辺で、相次いでスーパーが閉店している。本市の中心地に暮らす人々、特に高齢者や障害者がスーパーで買物ができよう、どのような取組を考えているか。

答 店舗出店に向けた働き掛けを行うとともに、移動スーパー等の巡回頻度やエリア拡大について民間事業者と調整を図っていく。

和歌山興志クラブ



ながの ひろひさ
永野 裕久

マイナンバーカードの諸課題

問 根強く残る不安や誤解を払拭し安全性の周知や個人情報管理体制の強化、利便性の周知徹底、申請の面倒さを改善する等が必要になる。既に多くの方が申請できる環境を満たしているが、常に小さな声に耳を傾ける市であり続けてほしい。

高齢者向け施設等の入居者は窓口まで申請に行くのが困難である。そこで、高齢者向け施設等に出張窓口の開設を重点的に増やす必要があると思うがどうか。

答 昨年度から出張申請を始めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、ごく一部の実施にとどまらざるを得なかった。今年度は、施設に対しネット活用も含めた出張申請の依頼方法についてメール等で案内を始めている。

あかまつ よしひろ
赤松 良寛

市の組織・人事の諸課題

問 市民サービス向上のためにも、縦割り行政の弊害や前例主義からの脱却などについて自由に意見を出し合い、新たなチャレンジを評価する風土や仕組みが必須である。今後、人事評価制度をどのように改善しようと考えているか。

また、会計年度任用職員の事務員の再度の任用試験は、一般教養を問うものから業務に関わるものに変更すべきではないか。

答 職員が発揮した能力、上げた業績を把握し、評価基準に基づいて適正に評価するよう徹底する。評価結果については、人材育成のための指導・助言を行うよう運用を変更するに当たり、規則改正及びマニュアルを改訂し、10月から改めたいと考える。事務員の試験は、事務処理能力を確認できる方法にしたいと考えている。

日本維新の会

しが ひろあき
志賀 弘明

観光行政の改革

問 新たなみさき公園のオープン、大阪関西万博の開催など、今後、関西国際空港からのインバウンドが確実に増加することが見込まれる。

本市の経済成長の柱として、和歌山市観光協会の活性化など、観光政策を重視するべきだと考えるが、市長の考えはどうか。

答 本市の観光地づくりの司令塔である観光協会の役割は、重要であり、「ONE関西」のもと、近隣市町とも連携しながら、本市が関西の観光ゲートウェイの一つとなるよう、広域的、戦略的に観光政策を進めていく。

大阪・関西万博に関する社会教育

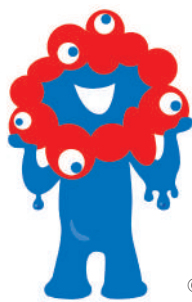
問 1970年に開催された大阪万博は、私が、中学

3年生の学校の社会見学で千里の万博会場を訪れ、未来を感じる大きなイベントであった。50年以上たった今でも、色あせることなく

はつきりと覚えている。再来年に迫った大阪・関西万博を今の子供たちに体験させてあげたいと思うが、

どのように考えているか。また、学校行事として小学校高学年と中学生に自己負担なく見学できるように検討できないか。

答 大阪・関西万博は、次世代を担う多くの子供たちにとって絶好の学びの場になると捉えている。教育旅行などの補助事業は、先般、関西広域連合が国に財政支援を求めており、今後の動向を注視して検討していく。



©Expo 2025

大阪・関西万博公式キャラクター「ミyakumiyaku」

日本共産党議員団

さかくち たみこ
坂口 多美子

児童保育の待機児童

問 191人の待機解消に早急な対応が必要でないか。

自衛官募集の名簿提供

問 望まない場合除外申請を受け付けるべきでないか。

答 法の定めがないため、考えていない。

もりおか さちこ
森下 佐知子

小中学校の災害対策

問 6月2日の大雨の際、児童生徒の下校については、今の風水害に合わせた対策が必要ではなかったか。

答 今回の検証とともに児童生徒の安全を最大限確保するため気象台や危機管理局とも連携を密に取り組む。

みなみばた さちよ
南 畑 幸代

メガソーラー／地域バス

問 市太陽光条例の対象を引き下げるべきではないか。

答 林地開発規定が引き下げられた。条例についても検討が必要と考える。

問 昨年度の地域バス実証運行結果をどう総括したか。

答 有功、木本・西脇を本格運行に向け準備している。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

要 概 の 査 審 会 員 委

総務委員会

当委員会に付託された議案10件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**移住・定住・交流推進支援事業**200万円について。これは、雑賀崎地区における地域主体の移住希望者受入れに係る活動に対し補助を行い、移住・定住・交流活動を支援するものです。



チーム雑賀崎会議の様子

SDGs推進事業(SDGsアクション参加活動促進事業)300万円について。これは、SDGs達成に向けた取組について公募

し、地域内外で共有することで、SDGsの取組の参加活動を促進するものです。

コミュニティ助成事業(地区防災会)200万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、地区防災会の防災資機材の整備に要する費用を助成するものです。

議案第2号、和歌山市税条例の一部を改正する条例の制定について。これは、地方税法施行規則等の一部を改正する省令及び地方税法等の一部を改正する法律が令和5年3月31日に公布されたことに伴い、原動機付自転車の区分に新たに道路運送車両の保安基準に規定する特定小型原動機付自転車が増加されたことにより、その種別割の税率を条例で定める改正を行い、また、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税について、減額措置を講ずるため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、防災マップの全戸配布完了、事前復興計画の中間報告などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



7月3日



7月6日

厚生委員会

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、**子育て世帯生活支援特別給付金事業**5億5393万1千円について。これは、食費等の物価高騰に直面し影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対する生活支援として、児童扶養手当受給者等に対して児童1人当たり5万円の給付金を支給するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業8億1033万6千円について。これは、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、令和5年春及び秋開始接種の実施並びに個別接種促進のための支援事業に係る費用の増額を行うものです。

がん対策事業300万円について。これは、がん患者のがん治療に伴う心理的・経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の向上を図るため、ウィッグ等の医療用補整具の購入費用を助成するものです。

脱炭素化推進事業5594万

4千円について。これは、地域暮らし分野の脱炭素化を推進するため、民間事業者や個人が設置する太陽光発電設備等の費用を助成するものです。



議案第11号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、**物価高騰重点支援給付金事業**17億6454万9千円について。これは、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び家計への影響が大きい家計急変世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付するものです。

なお、審査過程において、新型コロナウイルス感染症、令和4年度生活保護法第78条適用状況、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



7月4日



7月7日



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教 委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案4件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。



コミュニティセンター完成イメージ図

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第1号）中、コミュニティセンター建設事業2億2000万円について。これは、生涯学習や地域活動及び防災の新たな拠点となるコミュニティセンターを第8ブロック（高松・吹上・砂山・今福）に整備を行うものです。

担い手等育成事業1121万6千円について。これは、令和4年度に農業経営を開始した認定新規就農者に対し、必要な機械又は施設の導入等の支援を行うため、補助金を交付するものです。

議案第11号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第2号）中、学校ICT環境設備整備事業2363万9千円について。これは、小学校、中学校等におけるGIGAスクール端末の活用を推進するため、インターネット通信環境を整備するものです。

小学校給食費無償化事業6億8029万2千円について。これは、物価高騰の状況を踏まえ、子育て世帯への経済的支援のため、市立小学校・義務教育学校（前期課程）の令和5年度の給食費を無償化するものです。

議案第12号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第3号）中、農業施設災害復旧事業2565万円について。これは、令和5年6月2日の豪雨により、里道や水路等の土砂等の撤去など、被災した農業施設の復旧を行うものです。

なお、審査過程において、和歌山城ホール指定管理者の公募、令和5年度和歌山市中央公民館運営審議会について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



7月3日



7月6日

建設企業 委員会

当委員会に付託された議案10件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第1号）中、消防団の力向上モデル事業500万円について。これは、消防団運営の普及促進及び地域防災力の活性化を図ることを目的に国の委託事業として、消防職員との合同水防訓練や車両及びポンプの取扱い訓練を実施するために必要な経費を補助するものです。



消防団の訓練の様子

地域バス本格運行事業（有功・木本・西脇地区）891万2千円について。これは、有功地区及び木本・西脇地区において、新たに鉄道路線などの既存交通に接続する地域バスを運行し、交通ネットワークの構築を目指すものです。

公園管理事業459万1千円について。これは、スポーツ振興くじ助成金を活用し、紀の川緑地トイレの更新・バリアフリー化を行うものです。

議案第11号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第2号）中、路線バス運行継続支援事業819万3千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗客数が減少したバス路線（六十谷線・鳴神線・雑賀崎循環線）について、地域住民の生活を守るため、バス路線維持を行う取組を支援するものです。

議案第12号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算（第3号）中、河川災害復旧事業4950万円について。これは、令和5年6月2日の豪雨により、土砂崩れで閉塞した河川の復旧など、被災した河川施設の復旧を行うものです。

なお、審査過程において、雑賀崎廃旅館除却事業の進捗、和歌山市都市計画マスタープランの一部見直しなどについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



7月4日



7月7日

ようこそ!和歌山市議会へ

~和大附属小5・6年生が傍聴に来られました~

6月27日・28日の2日間、和歌山大学教育学部附属小学校の5・6年生が、授業の一環として、6月定例会の傍聴に来られました。

お渡しした子供向けの市議会パンフレットを手に、気付いたことをメモするなど熱心に勉強していました。政治に関心を持ち、自分のまちの将来を考えるきっかけとなればうれしいです。

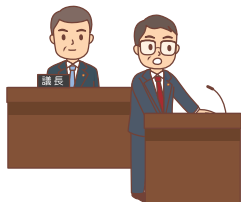


市議会だより設置にご協力いただける事業者を募集しています!

市議会だよりは、定例会ごとに年4回発行しており、「見やすい、読みやすい、親しみのある紙面づくり」に取り組んでいます。これまで、スーパー、飲食店、美容院など様々な場所に設置していただいています。一人でも多くの方にご覧いただけるよう、事業所や店舗での設置にご協力をお願いします。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局 (TEL:432-0022) へお気軽にお問い合わせください。

詳しくはこちらをご覧ください▶



次の定例会は、
9月です!



生中継・録画中継が
ご覧いただけます。

市議会では、市民の生活に直結する福祉、教育、道路、防災など様々なことについて、審議しています。本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。ぜひお気軽にお越しください。

広報委員会からのお知らせ



市議会をもっと身近に!

改選後、新たに10人の広報委員が選任されました。市議会だよりの発行をはじめ、PR動画の制作、市議会公式SNSを通じての情報発信などに取り組んでいます。

市議会公式SNSのフォロー&チャンネル登録をよろしくお願いします。



広報委員会
メッセージ動画

和歌山市議会公式SNS



Facebook



WAKAYAMACITY.GIKAI
Instagram



YouTube

〒640-8511
和歌山市七番丁23番地
和歌山市議会広報委員会 宛
TEL: 432-0022 (議会事務局)
FAX: 424-9276
Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



ご意見・ご感想は
こちらから



和歌山市議会ホームページ <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/> 和歌山市議会 検索

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。

